

2020 AHI スタディツアー



スリランカの現地NGOのコーディネートにより学校、医療施設、漁村、農村、紅茶農園などを訪問し、人と出会って現状や課題について考えます。

大規模開発が進む漁村で生活を守る女性リーダー宅や、象と人の共生を目指す住民の家、紅茶農園ラインルームで一軒に一人のホームステイを体験。

現地での出会いを通じて、あなたはどんな力をつかみますか？

日程

2019年3月20日(金)～30日(月)
(9泊11日)

訪問先 スリランカ

(ニゴンボ、クルネガラ、キャンディなど)

現地受け入れ

AHI元研修生が所属するNGOによる受け入れ

対象

20名(高校生10名/学生・一般10名)
※AHIの会員になって頂く必要があります

参加費

204,130円(海外旅行保険代含む)
※燃油特別付加運賃、空港使用料、ビザ申請料等
が別途必要になります。

説明会

全2回 2月1日(土)、2月8日(土)
14:00～16:00 (於:AHI)

応募締切 2020年2月10日(月)

※ただし定員に達し次第締切ります
※お申込みの際は必ず正式な資料(要項・申込書)
をご請求下さい。又は、当団体ホームページより
入手いただけます。

現地プログラム企画・問合せ先

公益財団法人アジア保健研修所(AHI)

【担当】中島

電話:0561-73-1950

FAX:0561-73-1990

メール:info@ahi-japan.jp

ホームページ:http://ahi-japan.jp/

企画・実施 (株)風の旅行社

東京都中野区新井2-304 IFOビル6F

後援

JICA 中部(予定)

過去のツアーの体験の様子も交えながらご説明します。ぜひご参加ください。

※事前に電話またはメールにてご予約ください
(日程の都合の悪い方は個別相談にも応じます。)

2019年スタディツアー参加者の感想

ホストファミリーとの心温まる交流

ホームステイを通じ、スリランカの人たちは外国人である私たちにとっても親切に接してくれました。お世話になったホストファミリーたちに恩返しができるように、もっとタミル語、シンハラ語、スリランカの実態など色々勉強して、スリランカにまた行きたいと思います。

(高校2年女性 Sさん)

将来は途上国の開発援助の仕事がしたい

僕は今回のツアーで未知の景色、匂い、味、価値観、その他諸々に触れることができました。

それらは間違いなく大切な思い出で宝物です。

そして自分はやはり途上国の人たちのためになることがしたいんだと再確認しました。ツアーの経験を生かして、将来は途上国の開発援助に携わっていきたいです。

(大学2年男性 Kさん)



2019年スタディツアー 紅茶農園にて

「ツアー事前準備会」

2月中旬以降に事前準備会を2回行ない、ツアー中の訪問先や受け入れ団体について学びます。



～ 現地受け入れ団体紹介 ～

NAFSO (ニゴンボ)

(スリランカ全国漁民連合)

農民や漁民など弱い立場におかれた人々が、自らの権利を主張し地域での意思決定への参加を支援するNGO

PSS (クルネガラ)

(プラジャ・サハヨーギタ=地域の協力会)

象と人の共生など地域課題について行政に提言や働きかけをし、地域づくりを主体的に進めている住民組織

SVFWO (ニゴンボ)

(スリ・ピムクティ漁村女性組合)

自助グループで公衆衛生の改善、生計向上、観光開発から漁民の生活を守る活動に取り組む住民組織

HDO (キャンディ)

(人間開発センター)

紅茶農園で人権、ジェンダーの問題に取り組む、貧困根絶、公正な社会づくりを進めるNGO



アジア保健研修所(AHI)は、アジア各地の村々で人々の健康を守るため、現地の保健開発ワーカーを育成している国際NGOです。1980年に始まり、約6,000人の研修生がアジア各地で活動しています。その活動は、約4,000人の会員、寄付者、ボランティアの方々を支えられています。